

## 6 生活委員会での話し合い

名前

竹田さんたちは生活委員会のメンバーです。今月の目標「あいさつをしよう。」を、全校生に知らせるために、キャッチコピーを考えています。【黒板】のキャッチコピーの案と【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【黒板】

今月の目標 あいさつをしよう。

キャッチコピーを考えよう。

1案 うれしくなるね、みんなの「おはよう」

2案 あいさつ貯金、はじめましょう。

心の中に笑顔がたまる。

【話し合いの一部】

※①竹田・②石川・③山本・④中島の発言の内容は、問いと関係があります。

①竹田

ぼくは、1案のキャッチコピーの「うれしくなるね」ではじまっているところが好きです。そのわけは、あいさつのよさを、心の動きであらわしているからです。それに、「うれしくなるね」と、みんなに **A** から、行動しようという気持ちになれるのではないのでしょうか。

②石川

同じです。例えば、このキャッチコピーが「みんなの『おはよう』、うれしくなるね」であつたら、心に強くひびいてはきません。「うれしくなるね」ではじまる言葉の順がいいと思います。

③山本

つけ加えます。「みんなのあいさつ」ではなく、「みんなの『おはよう』」と言っているところがいいと思います。具体的にあいさつの言葉を使っているので、さっそく「おはよう」って言おうと思うのではないのでしょうか。

④中島

わたしは、竹田さんたちとちがって、2案のキャッチコピーの「あいさつ貯金」という言い方がいいと思います。

**B**

二つ目は、「あいさつ貯金」と言われると楽しくなって、一年生や二年生も、

実行しようという気持ちになれるのではないかと考えるからです。

山本

それに「心の中に、笑顔がたまる」と言われると、うれしくなってきましたね。「あいさつ貯金」が合い言葉になって、あいさつがどんどん広がるような気がします。

石川

さつき1案の言葉の順がいいと言いましたが、同じことが2案にも言えます。「心の中に笑顔がたまる、あいさつ貯金、はじめましょう」と、言葉の順をならびかえたものと比べると、うったえかけてくる強さがちがうように思います。

竹田

言葉の順だけではないと思います。2案の「はじめましょう」と、みんなによびかけているところも、1案と同じです。よびかけているから、行動しようという気持ちが高まってくるのだと思います。

～(話し合いが続く)～

①竹田さんの発言の

A

の中に入るもつともふさわしい七文字の言葉を、【話し合いの

部】の中から見つけて書きぬきましょう。


②石川さんの発言と③山本さんの発言に共通していることは何ですか。もつともふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号に○を付けましょう。

- 1 相手に共感して、感想を伝えたりはげましたりしている。
- 2 よく似た表現と比べ、自分の考えをはっきり伝えている。
- 3 司会者として、これまでの発言を整理しようとしている。
- 4 これまで話されていないことがらを聞きだそうとしている。

